

# 1. 評価報告概要表

作成日 平成20年2月20日

## 【評価実施概要】

事業所番号	1176501870
法人名	メディカル・ケア・サービス株式会社
事業所名	愛の家グループホーム南与野
所在地	338-0013 埼玉県さいたま市中央区鈴谷1-24-1 (電話) 048-851-6488

評価機関名	社会福祉法人 埼玉県社会福祉協議会 福祉サービス評価センター
所在地	330-8529 埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷4-2-65 彩の国すこやかプラザ
訪問調査日	平成20年2月20日

## 【情報提供票より】(20年2月20日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成15年8月1日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	21 人	常勤	14人, 非常勤 7人, 常勤換算 15.1人

### (2) 建物概要

建物構造	RC造り		
	3 階建ての	1 階 ~	3 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	77,000 円	その他の経費(月額)	無	実費
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (300,000円)	有りの場合 償却の有無	有	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
または1日当たり900円				

### (4) 利用者の概要(2月20日現在)

利用者人数	27 名	男性	10 名	女性	17 名
要介護1	5 名	要介護2	8 名		
要介護3	9 名	要介護4	4 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 83 歳	最低	68 歳	最高	100 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	さいたま記念病院
---------	----------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

最寄り駅から徒歩5分という交通の便の良い場所にある、3階建て、3ユニットのホームである。ホームの前には広い駐車場があり、近隣の人に無料で開放している。また、夏には祭りが行われるなど、利用者や職員の楽しみの場となっている。裏庭には畑があり、野菜や花を育てて自然に親しめる環境にある。各ユニットとも共用の場である居間は明るく、整頓されている。利用者と職員が一つひとつ手作りしたカレンダーが季節感をよく表現しており、ホームの暖かい雰囲気が感じられる。食事も安価で美味しく、家庭の味を大切にしたいと工夫されている。利用者の要望に合わせて、よく外出の機会も設けられている。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>法人の理念は確立されているが、ホーム独自の理念も明示して欲しいという課題は改善されていない。地域との連携については、ホームの敷地に自治会の掲示板を立てたり、無料で近隣の人に駐車場を開放したりと関係作りを進めている。食器類も少しずつプラスチックから陶器のものに変えて、より家庭的なホーム作りを目指している。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>運営者と管理者は自己評価に対し、真摯に取り組んでいる姿勢が感じられる。しかし、法人と管理者、職員で、話し合い取り組むまでには至っていない。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>運営推進会議は開催されているが、運営推進会議を十分に活かす取り組みには至っていない。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>利用者や家族のために、意見箱が玄関に設置してある。また、家族が面会に来られたときには、各ユニットのリーダーが、家族の思いを聞き取るように努力している。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>町内会に入ったり、敷地を開放したり、ホーム行事に近隣の方を招くなど地域との連携に向けた取り組みをしている。</p>

## 2. 評価報告書

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人としての運営理念は明確であり、玄関など目に付く場所や名詞の裏などにきちんと明示してある。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	法人としての理念は確立されているが、ホーム独自の理念が明確でなく、管理者と職員の取り組みはできていない。		管理者、職員個々には、理念を作り上げているので、管理者、職員全員で話し合い、ホームとしての理念を確立していかれることが望まれる。
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	管理者は地域の一人暮らしの高齢者を定期的に訪問し見守りを続けている。また、ホームの敷地を無料の駐車場として提供したり、自治会の掲示板を置くことにより、自然に地域の人が行き来できる場にしようと努力している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者と管理者は、前回の評価を改善し見直しを図るなど、外部評価に対して真摯に取り組んでいる。しかし、職員の参加は見られない。		職員にも、外部評価の意義を説明し、話し合いをして、運営者、管理者、職員の全員で取り組むことが期待される。
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回、地域包括支援センターの職員、民生委員、管理者が参加して行っている。しかし、議事の記録が不十分であり会議の内容が十分に活かされていない。		運営推進会議の意義をよく理解し、管理者と職員全員での取り組みが期待される。家族や市へもあきらめずに働きかけ、参加してもらえる状況作りが望まれる。また、記録の整備も望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の担当課とは密に連絡を取り合っている。また、「認知症サポーター」制度の立ち上げを区から相談されており、積極的に区と連携をとっていく予定である。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	毎月、各ユニットのリーダーが、写真やこづかい帳の収支報告を添えた手紙を利用者の御家族に送っている。受診した時や転倒などの事故が起きた時はその都度知らせるようにしている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族が来所した機会をとらえて、職員が家族の話を聞くようにしている。出された意見、要望等は月1回の運営会議で話し合い反映させている。また、玄関に「意見箱」を設置している。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員が異動、離職の場合には、当日にあいさつをしたり、特に知らせなかったりと、ユニット毎に、利用者に関わせた対応をしている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内部の研修や救急の研修など、必須のものは受けている。しかし、外部の研修などを受けている職員は少ない。		管理者や職員が研修を希望したときには、研修を受けられるように、運営者は勤務体制の工夫などを行うことが望まれる。
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域的に交流会や勉強会は少ないが、限られた中で参加の機会を持つようになっている。また、区から依頼された「認知症サポーター」の企画を通して同業者との交流に取り組んでいるところである。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>本人や家族が見学に来た際には、家族によく説明を行っている。また、利用が決まったら必ず事前訪問し、本人と家族の話をよく聞き、納得して利用してもらうようにしている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は、できないところだけを手助けし、常に利用者を年長者として、尊敬の念をもって接している。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>定まったスケジュールに沿って団体行動するのではなく、一人ひとり好きなように過ごしてもらうようにしている。問題がある場合はその都度、各ユニットで話し合っ解決している。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>ユニット会議でケアプランを話し合い、定期的に、リーダーが介護計画を作成している。作成したものは実践し、職員全員で見直しを行っている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>原則3ヶ月毎に、ユニットのリーダーが介護計画を作成している。また、更新時や状態の変化時は、その都度皆で話し合い、見直しを行っている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	身寄りのない利用者や家族が忙しい利用者のために、代わりに職員が受診介助を行ない、利用者が必要な時や希望時に安心して受診できるようにしている。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	近所の協力医が月に2回、定期的に往診を行っている。しかし、遠くても入所前のかかりつけ医に受診したい利用者には家族に頼み希望どうりにしてもらっている。また、歯科や眼科などは利用者の希望のところへ職員が介助で受診している。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	実際に終末期を迎えようとしている利用者があるが、まだ方針は定まっていない。		管理者、職員、かかりつけ医、利用者、御家族の全員で話し合い、早急に方針の統一を図ることが望まれる。
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者には姓名で声かけを行い、記録類はすべて、利用者の目の届かないところに保管するなどの配慮がなされている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事時間や入浴時間など最低限、決まったこと以外は、団体行動を無理強いせず、利用者が好きなように過ごせるよう工夫している。植物を育てるのが好きだという利用者は、部屋いっぱい鉢物を並べて楽しんでいる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	専任の調理員があり、材料選びから購入、調理まで時間をかけて丁寧に食事づくりを行っている。安価で家庭的な食事を利用者はほとんど全量食べている。利用者にあわせて刻んだりつぶしたりと食べやすい配慮もされている。片づけは各ユニットの職員が利用者と一緒に行っている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	安全に入浴できるよう、職員の人数の多い時間帯に入浴してもらっている。着替えの部屋にもエアコンが設置され、温度差がでないよう配慮され、快適な入浴が楽しめるようにしてある。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	各ユニットごとに、サーカス見物に出かけたり、裏の畑で花や野菜作りを楽しんだりと利用者の希望にあわせた日々を過ごしてもらうよう努めている。新聞をとったり、喫煙も自由である。また、外部者の支援による陶芸教室、アロマセラピー、マッサージなども行われている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い日はなるべく戸外で過ごしてもらうようにしている。遠くへ散歩に行くのが難しい時は、ホームの前の空き地に備え付けたテーブルに腰掛けて談笑したりしてもらっている。希望があれば外食に出かけることもある。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室は内側から利用者が施錠できる。非常時には外からスペアキーで開けられるようになっている。窓は自由に開閉できるが、安全のために全開はできないように工夫されている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署へ直通の電話が設置しており、また、エレベーターは非常時にはストレッチャーが使えるように設計されている。定められた防災訓練も受けている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>栄養士によるカロリー計算のされた献立がたてられており、安全な材料選びや新鮮なものを提供できるよう努力がされている。呑み込みの悪い人にはとろみをつけたり、刻んだりするなど食べやすいように配慮されている。摂取量はきちんと記録されている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>全般的にむだなものがなく、スッキリと落ち着いた空間となっている。また、浴室やトイレは掃除が行き届き、清潔感がある。壁に飾ってある職員と利用者が作ったカレンダーが季節感と温かい家庭の雰囲気を出している。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>植物を育てるのが好きだという利用者の部屋には、鉢物が並べてあるなど、各部屋に思い思いのものが置いてあり、利用者の好みのもを活かして居心地よく過ごせるよう工夫している。</p>		